

滋賀県道路公社中期経営計画

令和 2 年度～令和 5 年度
(2020 年度～ 2023 年度)

令和 2 年 3 月

滋 賀 県 道 路 公 社

目 次

1. はじめに	1
2. 会社の概況	1
3. 経営の現状	4
4. 課題と取組み	5
5. 目標値の設定	9

1. はじめに

滋賀県道路公社は昭和 47 年に設立され、琵琶湖大橋をはじめとする有料道路の建設および管理事業を行うことにより、幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図るなど、滋賀県道路整備計画の一翼を担ってきました。また、有料道路が社会経済の発展基盤として県民生活の向上や経済活動を支える役割を果たしてきた結果、観光や日常生活にとって不可欠な施設として定着してきたとともに、今日までに近江大橋有料道路ほか 4 路線の有料道路を無料開放し、県に引き継いできました。

さらに、多様化する利用者のニーズに的確に対応するために、今後は交通渋滞区間の改善や質と耐久性に優れた道路整備を図るなど、より「安全性」「利便性」「快適性」を重視した付加価値の高いサービスの提供が求められているところです。

こうした取り組みを推進して、利用者へのサービスの向上を図るため、健全経営を維持し、強固な経営基盤の確立に向けて、令和 2 年度から令和 5 年度までを対象とした「中期経営計画」を策定して、主体的な経営に取り組むことといたします。

(1) 基本理念

安全、安心、快適で環境に配慮した有料道路を提供して、県民の福祉の向上と産業経済の発展に寄与する。

(2) 経営方針

持続可能で強じんな道づくりを目指します。

- ① 安全・安心社会の実現：安全、安心、快適な道路を提供して、利便性と利用促進を図ります。
- ② 経済性を考慮したインフラの推進：インフラの建設のみならず、その運営や維持・管理等も含めたトータルコストを考慮した事業の効率化を推進し、健全経営を維持します。
- ③ 環境の保全：生物多様性や地球温暖化への影響を考慮し、環境負荷の削減に寄与します。

(3) 計画期間

4 年間（令和 2 年度から令和 5 年度）

2. 公社の概況

現在、当公社が管理している道路整備特別措置法に基づく営業路線は、「琵琶湖大橋有料道路」および「大津港駐車場」です。このほか、守山市吉身の JR 跨線橋の高架下で月極駐車場を、琵琶湖大橋の西詰めにおいては道路利用者の休憩所や売店・レストランと、県産農畜水産物の直売所を併設した道の駅「びわ湖大橋米プラザ」をそれぞれ管理しています。

路線名等	延長・台数	建設費	料金徴収期間等
琵琶湖大橋有料道路	15.4km	43,280百万円	昭和39年 9月28日～令和11年 8月 4日
大津港駐車場	151台	1,500百万円	平成 9年 4月 1日～令和 9年 3月31日
吉身高架下駐車場	25台	2.8百万円	(平成12年10月 1日供用開始)
道の駅びわ湖大橋米プラザ	—	746百万円	(平成 8年10月 8日供用開始)

【 図表 1 】 会社が管理している路線等の概要

当社は、有料道路等を借入金で建設し、供用後は利用者からの料金で建設費の償還と維持管理をしています。このため、良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を確実に償還していくことが当社の責務です。

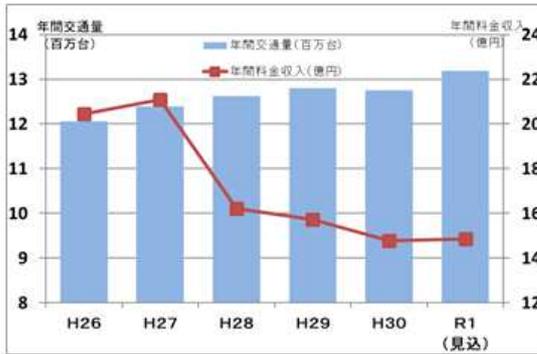
(1) 琵琶湖大橋有料道路

平成 28 年 1 月 20 日に国土交通省近畿地方整備局長より事業変更許可を受け、同年 3 月 1 日より第 6 期事業に着手するとともに、同年 4 月 1 日に料金改定（値下げ）を実施しました。その結果、通行台数は平成 28 年 4 月 1 日に料金改定をしたこともあり、増加の傾向にあります。

また、平成 31 年 2 月 1 日午前 0 時より、上下計 4 車線において ETC の運用を開始しました。そして、平成 30 年度に実施した琵琶湖大橋東詰交差点改良と相まって、混雑時間帯の短縮効果が現れ、円滑な交通環境の提供に寄与しています。

琵琶湖大橋の長寿命化計画に基づき、琵琶湖大橋旧橋（昭和 39 年架橋。現在は大津方面 2 車線、橋長 1,350 m の橋梁。）の床版補修工事や歩道修繕工事を実施しています。また、架設後 50 年が経過した跨線橋など橋梁補修工事を計画どおり終了するなど、施設の長寿命化を行っています。

「未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保について」（令和元年 6 月 18 日付け 国土交通省道路局）の通知による緊急点検の結果に基づき、要対策箇所について必要な対策を行うこととし、短期・中長期に分け、対策工事を実施しています。



項目 年度等	通行台数		料金収入	
	単位: 台	前年比	単位: 千円	前年比
H26	12,063,945	98.8	2,044,166	98.7
H27	12,397,456	102.8	2,109,456	103.2
H28	12,620,290	101.8	1,622,726	76.9
H29	12,799,021	101.4	1,572,749	96.9
H30	12,755,099	99.7	1,477,978	94.0
H30(計画)	12,150,485		1,459,270	
計画対比	105.0		101.3	
R1 見込	13,188,417	103.4	1,485,947	100.5

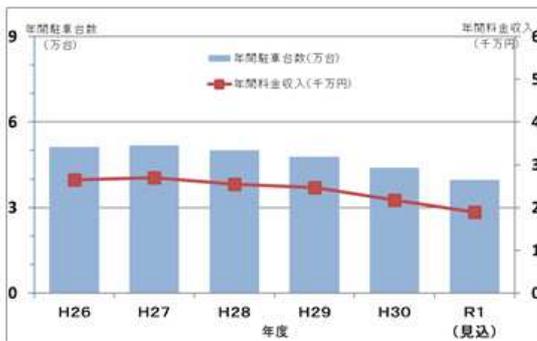
【図表 2】 琵琶湖大橋有料道路の年間交通量と料金収入の状況

(2) 大津港駐車場

大津港駐車場については、経費面、実行性、維持管理等を総合的に判断し、県（港湾管理者）に替わり当公社で建設することとなり、「大津市駐車場整備基本計画書(平成3年3月)」を基にし、平成7年当時の駐車場不足の実態、大津港改修整備および市街地再開発計画の動向を踏まえた事業計画により整備を行いました。

しかしその後、周辺に他の駐車場が整備されたことや、市街地再開発事業が中止されたこともあって、浜大津周辺の駐車場の需給状況が変化している中、1日上限料金の設定、広告媒体を活用した広報により継続的に利用促進を図ってきましたが、駐車台数と料金収入は開業時の収支計画を大幅に下回っています。

維持管理については、平成25年度に実施した劣化診断に基づく補修工事は終了し、駐車場本体は健全な状態となっています。



項目 年度等	駐車台数		料金収入	
	単位: 台	前年比	単位: 千円	前年比
H26	51,327	87.8	26,542	91.4
H27	51,886	101.1	26,938	101.5
H28	50,072	96.5	25,505	94.7
H29	47,763	95.4	24,659	96.7
H30	43,934	92.0	21,746	88.2
H30(計画)	185,055		107,474	
計画対比	23.7		20.2	
R1 見込	39,698	90.4	18,987	87.3

【図表 3】 大津港駐車場の年間駐車台数と料金収入の状況

(3) 道の駅びわ湖大橋米プラザ

休憩所機能のみならず、道路利用者や地域住民へのサービス提供の向上に努めています。平成25年度に実施した劣化診断に基づく補修工事は終了し、また防水シートの設置されている屋上についてもすべて修繕を終了しており、建物本体は健全な状態で維持管理しています。

(4) 吉身高架下駐車場

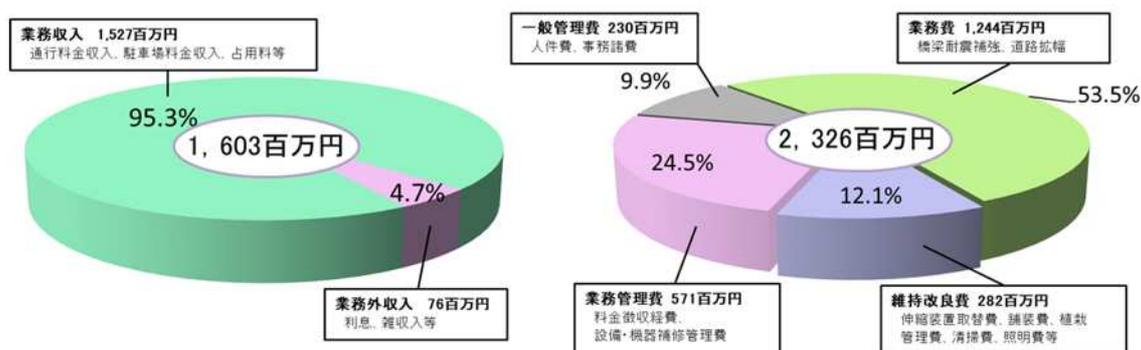
吉身高架下側道における違法駐車対策および通勤通学時間帯の交通事故防止から、地域の交通安全、生活環境の改善等住民の福祉の増進に貢献しています。

3. 経営の現状

(1) 収支の現状

令和元年度（令和 2 年 2 月現在の決算見込み）の収入の総額は、約 16 億円であり、そのほとんどが料金収入となっています。

一方、支出について、総額の約 53 %は、橋梁耐震補強や道路拡幅といった琵琶湖大橋有料道路第 6 期事業の推進に、残る約 47 %は、安全・安心・快適な通行を確保するために必要な道路の改築および維持管理経費に充てています。



【図表 4】 収支の状況（令和元年度決算見込み）

※収支差額については、建設事業費の一部として、公社内部資金で賄います。

※令和 2 年 2 月末現在の決算見込み額で作成しています。

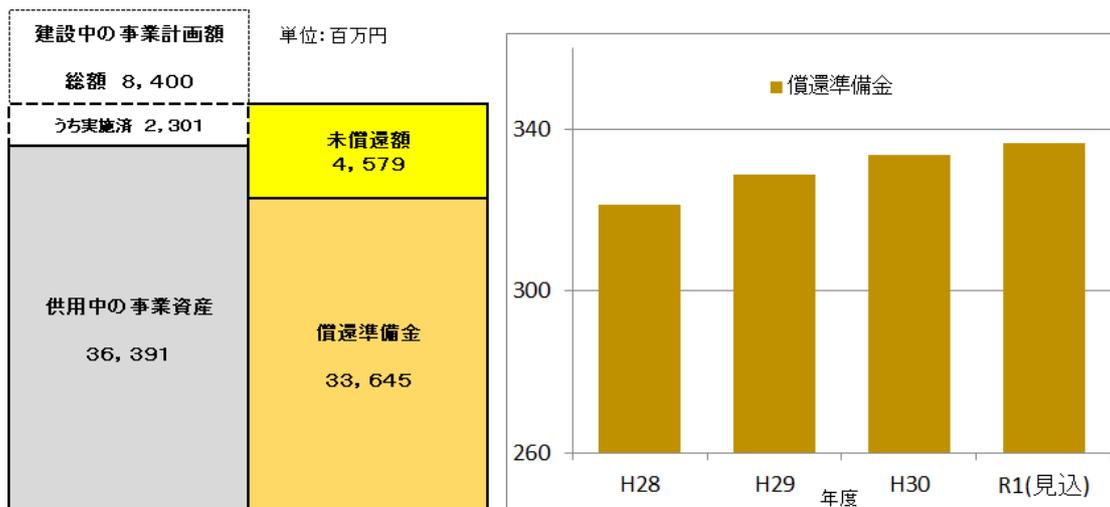
※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

※端数処理の関係上、合計が合わないことがあります。

(2) 事業資産と償還の状況

令和元年度末（令和 2 年 2 月現在の決算見込み）の事業資産額は 382 億円（建設中の 18 億円を含む）となっています。

一方、償還の状況を示す償還準備金（各年度に借入金返済に充てた金額の累計額）は 336 億円で、償還率（事業資産額に対する償還準備金の比率）は約 88.0 %になっており、過去 3 年の償還の状況からも、着実に償還を進めています。



【 図表 5 】 事業資産と償還準備金の状況（令和元年度決算見込み）

※令和 2 年 2 月末現在の決算見込み額で作成しています。
 ※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。
 ※端数処理の関係上、合計が合わないことがあります。

4. 課題と取組み

当社の基本理念、経営方針を踏まえ、琵琶湖大橋有料道路第 6 期事業の成果を一日でも早く利用者の皆様に提供できるようにすることを重点的な課題としてとらえ、以下の項目の達成に取り組めます。

(1) 琵琶湖大橋有料道路第 6 期事業の着実な実施

平成 26 年度に当社の設立団体である滋賀県は、経営状況が良好な琵琶湖大橋有料道路のあり方について「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」を設け、検討を重ねられました。この研究会の検討の結果、国との協議結果および県財政状況等を踏まえ、知事が滋賀県議会平成 27 年 6 月定例会での提案説明において、琵琶湖大橋有料道路の建設有料事業を継続するとの方針を示されました。

当会社では県や国とも協議を重ね、新たに追加する事業の計画を策定し、この内容を盛り込んだ建設有料事業の計画変更について、平成 28 年 1 月 20 日に近畿地方整備局長から許可を受けました。

第 6 期事業の概要は、次のとおりです。

- 事業費 84 億円
- 工事期間 平成 28 年 3 月 1 日 ～ 令和 11 年 3 月 30 日
- 事業内容
- ①実施計画

実施する建設工事については、琵琶湖大橋前後の区間で、国道 477 号のうち大津側は真野ICまでの 1.9km、守山側 1 kmを 4 車線化するとともに、琵琶湖大橋の耐震対策を行います。

通行車両の利便性の向上を目指した、ETCの導入については平成 31 年 2 月に運用を開始しています。

◆ 国道 477 号の 4 車線化

琵琶湖大橋有料道路は、昭和 39 年 9 月に供用開始しましたが、その後の交通量の増加に伴い、交通混雑を緩和することを目的に、平成元年から琵琶湖大橋の新橋（平成 8 年架橋。守山方面 2 車線、橋長 1,400mの橋梁。）を含む約 3 kmの 4 車線化に着手し、平成 6 年 7 月から供用しました。

しかし、その後においても、国道や周辺道路の整備に伴い交通量がさらに増加し、一部の区間においては、慢性的に交通混雑が発生しています。

このことから、国道 477 号について、大津側の国道 161 号（湖西道路）の真野ICから琵琶湖大橋交差点まで約 1.9km、守山側の琵琶湖大橋東詰交差点から約 1 kmの区間の 4 車線拡幅を行います。

・ 大津側（真野IC～JR湖西線）

用地買収については物件補償を伴うものなど時間を要するものがありますが、令和 5 年度の供用開始を目指し、体制充実を図りながら粘り強く交渉を行い、早期に工事着手し工事を進めます。

・ 大津側（新宿橋）

新宿橋の掛け替えに長期間を要することから、占用者や地域、交通関係・河川管理者など各種関係機関と密接な連絡を図り計画通り進めます。

・ 大津側（JR湖西線～琵琶湖大橋交差点）

用地買収について、必要な条件整理を行い、令和 5 年までに完了できるようにします。

・ 守山側

営業店舗が多く用地買収に時間を要することから、粘り強く交渉を行い、令和 10 年度までの工事完了に間に合うよう、着実に進めていきます。

◆ 琵琶湖大橋本体の耐震対策

琵琶湖大橋有料道路は管理区間のほぼ全線が緊急輸送道路に指定され、災害時の避難路や物資輸送路として重要な機能を担っています。とりわけ琵琶湖大橋が大規模地震に見舞われ長期間通行不能となった場合には、社会的影響が非常に大きいことから、耐震性能を向上させる必要があります。

琵琶湖大橋の耐震対策については、これまでに旧橋・新橋の落橋防止システム設置、旧橋上部工・下部工（基礎部除く）、新橋下部工（基礎部除く）の補強を行っています。さらなる耐震性能向上のため、橋梁基礎部の耐震対策を行います。

この工事では、琵琶湖中に増杭を行う必要があります。琵琶湖の環境に極力影響が出ないよう工事を行う必要があることから、漁業者など、琵琶湖の環境に精通した方の意見などを聞きながら、慎重に工事を進めていきます。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国道477号4車線化 (大津側) (真野IC~JR湖西線)	用地買収				
				工事	
	新宿橋	迂回路設置		現橋梁撤去・護岸工	
			新橋築造		供用開始
国道477号4車線化 (大津側) (JR湖西線~琵琶湖大橋交差点)	用地買収				
国道477号4車線化 (守山側)	用地買収				
琵琶湖大橋耐震対策	漁業補償			工事	

【 図表 6 】 中期計画期間内の事業実施計画

◆ ETC の導入

通行車両の利便性を主な目的とし、併せて渋滞時間の短縮と環境への負荷削減を目指し、料金徴収について ETC の導入を行い、平成 31 年 2 月から運用を開始しました。

ETC の円滑な運用を確保するため、ETC 運用関連機関等との連絡を常に密にしていきます。

また、ETC のセキュリティについて、令和 2 年以降に更新の必要性が見込まれる路側機器について、スケジュールを含めた検討を行います。

②計画期間中の償還

令和 2 年度から令和 5 年度においては、大規模修繕、料金徴収事務および ETC 運用費の経費の増加が見込まれるものの、期間中の償還準備金の計画上の繰り入れ額の着実な確保に努めます。

③計画の見直し

計画の見直しは、琵琶湖大橋耐震化対策工事の精算額を見据えながら、令和 4 年度を目途に実施していきます。

(2) 安全・安心・快適な道づくり

琵琶湖大橋東詰交差点について、ETC 導入と交差点改良工事により朝夕の通勤時間帯の長時間の渋滞は減少しつつありますが、さらなる緩和、解消に向け、関係機関と協議しソフト対策に取り組みます。

交差点や通学路、園児の散歩経路など、歩行者自転車の事故発生の恐れがある箇所について、引き続き関係機関とともに安全対策を進めます。

道の駅は休憩所としての機能に加え、情報発信、地域連携といった多くの役割を果たしています。道の駅に関して、「道の駅」相互の連絡を図り、道の駅の利便性向上、質的向上に努めていきます。

(3) 計画的な維持管理

供用から半世紀以上を経過している琵琶湖大橋旧橋をはじめ、管理する施設は高齢化し、経年劣化による損傷が顕在化しています。平成 28 年度に策定した「滋賀県道路公社インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づき、個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）により、橋桁の塗装塗替えや伸縮装置取替等計画的に修繕を実施していきます。取付道路部も含めて、現地の状況に応じた路面等の補修を行い、快適さと安全性の確保に努めます。

また、道路メンテナンス会議等の場を活用し、周辺自治体など他道路管理者との情報収集や意見交換を行い技術力の向上を図っていきます。

大津港駐車場、道の駅びわ湖大橋米プラザも供用後 20 年が経過しているため、維持点検や個別の劣化診断の結果などを勘案し、適切な設備更新を実施します。設備更新にあたっては将来の使用を見通し、機能維持の更新のみならず、ライフサイクルコストの低減、利便性の向上など、新技術も踏まえた更新を進めます。

(4) 地域との連携強化

渋滞対策や道路交通活性化といった、地域の道路管理に関連する各種協議会に参画し、地域との連携を図ります。

また、利用者に対して、琵琶湖大橋有料道路第 6 期事業の内容やその必要性を説明し、理解と協力を得るよう、ホームページでの紹介に加え、琵琶湖大橋の検査路見学等の広報活動を行います。

さらに、琵琶湖大橋は地域の観光資源にもなっており、近年盛り上がりをもせる自転車による琵琶湖一周（ビワイチ）においても、重要なスポットに位置づけられています。このことから、地域の観光振興への取組みについて道路管理者として協力していきます。

(5) 健全な公社経営

①大津港駐車場への対応

港湾地区、周辺再開発の進捗状況、および周辺の駐車場を含めた需給状況の変化もあり、駐車台数と料金収入は計画を下回っており、現状では、浜大津周辺の駐車場の需給状況と民間駐車場とのバランスから、抜本的な改善が望めない状況が続いているため、引き続き経費の節減に努めるとともに、赤字を拡大させない早期償還も視野に入れた駐車場事業のあり方について、関係機関と協議を進めていきます。

②組織体質の健全化

職場研修を継続的に実施して、高い倫理観をもって職責を果たせるよう役職員のコンプライアンス意識の徹底を図るとともに、情報セキュリティ意識の向上やセキュリティ事案発生時の適切な対処に関する理解の促進を図ります。

③余裕資金の適切な運用

今日の金融環境は、国債のマイナス金利に象徴されるように超低金利が続く厳しい状況にあります。余裕資金を活用して過去に取得した高金利の債券は順次満期償還を迎え、低金利での運用更新を余儀なくされています。

このことを踏まえ、余裕資金の運用にあたっては、法令・通知の遵守および安全・

確実な商品選択を第一としつつ、長短金利差等金融環境の推移を注視するとともに、資金需要を的確に把握し、効率的な運用に努めます。

5. 目標値の設定

目標の達成度を測定するため、令和 2 年度から令和 5 年度にかけての目標値を下表のとおり設定します。

毎年度、設定した目標値の達成度を点検・評価し、決算時に公表しておりますが、今後も同様に毎年度の公表を行い、事業の促進を図っていきます。

項 目	指 標	現 在	目 標 値	
			目標年度	達成度
<琵琶湖大橋有料道路>				
① 国道 477 号の 4 車線化 ・ 大津側	事業進捗 (真野IC～JR湖 西線)	用地買収 補償	R2	工事着手
			R5	工事完了
	(新宿橋)	工事	H30	工事着手
			R5	工事完了
・ 守山側	(JR湖西線～琵琶 湖大橋交差点)	用地買収 補償	R3	工事着手
			R5	一部工事 完了
② 琵琶湖大橋基礎部 耐震対策	事業進捗	補償	R5	土地所有者 の80%完了
			R2	工事着手
			R5	工事完了